

「more trees展 一森を感じる12日間」 開催のお知らせ

数々の森林再生プロジェクトに取り組む一般社団法人more treesとアクシスギャラリーは、共同企画による「more trees展 一森を感じる12日間」を開催いたします。

日本は、国土の67%が森林に覆われていますが、その森林の40%（国土の25%）は人の手で植えられた人工林です。そのほとんどが戦後の高度経済成長期に木材需要を見込んで植えられた、スギやヒノキなどの単一林です。人工林は、定期的の間伐をしなければ健全な状態を保つことができません。なぜなら木が生長するにつれて、森林は徐々に過密状態となります。生育の悪い木や細い木などを見極めて切り出し、残された木に十分な光と栄養を与えることが大切になります。木を間引くと、木と木の間に隙間ができ、太陽の光が差し込むようになります。光が差し込めば、地面に下草が生え、保水力が増すようになります。

しかし、外国産木材の影響などで日本の林業は衰退してしまい、多くの人工林が手つかずのまま放置されているのが現状です。今、日本の森林に求められているのは“木を切ること”なのです。

本展では、メイン会場となるアクシスギャラリーにて森林の現状や森林への取り組みを紹介する他、「Play the Living」をコンセプトに間伐材を利用して制作したmore treesオリジナルプロダクトの発表、中庭と地下1階では鈴木康広によるインスタレーション、森や自然をテーマにした写真展などアクシスビル全館で関連の展示や販売を行います。本展が「日本の森」を改めて知り、考え、感じる機会となれば幸いです。

ぜひ、本展を貴誌上にてご紹介いただけますようお願い申し上げます。

*なお、会期中、本展関連のトークイベント、ワークショップを行います。

詳細は、<http://www.more-trees.org/>、<http://www.axisinc.co.jp> まで。

モア・トゥリーズ、アクシスギャラリー

展覧会名称：「more trees展 一森を感じる12日間」

会 期：2010年10月27日（水）～11月7日（日）

11：00-19：00（最終日は17：00まで）

会 場：アクシスギャラリー他アクシスビル内（東京都港区六本木5-17-1）

入場料：無料

主催／企画：more trees＋アクシスギャラリー

参加クリエイター：

深澤直人、鈴野浩一、鈴木康広、小林幹也、清水慶太、倉本 仁、熊谷有記、角田陽太

参加写真家（※五十音順）：

市橋織江、井上佐由紀、今井智己、澁谷征司、鈴木 心、瀧本幹也、田島一成、辻 佐織、津田直、泊 昭雄、長島有里枝、新田桂一、蓮井幹生、端 裕人、平間 至、広川泰士、ホンマタカシ、松江泰治、MOTOKO、若木信吾

会場デザイン：トラフ建築設計事務所

グラフィックデザイン：中野豪雄

読者お問い合わせ先：Tel.:03-5575-8655 E-mail:gallery@axisinc.co.jp

<http://www.axisinc.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ：

アクシス 佐野恵子 Tel.:03-5575-8391、E-mail:sano@axisinc.co.jp

モア トゥリーズ 柳内麻貴 Tel.:03-5770-3969、E-mail:press@more-trees.org

主な展示

■ アクシスギャラリー (4F) : 「Play the Living」

2009年、more treesの活動に賛同した50名のクリエイターが深澤直人デザインの鳩時計に、森を大切にするメッセージを込めた「鳩時計コレクション」の展示を新宿伊勢丹で行い、国産の間伐材を使ったプロダクトを世に送り出しました。地球環境を大切にする意識が世界中で高まる中、押し付けるような提案ではなく、人々が楽しみながら自然に日本の森林のためになるような取り組みにしたいという思いから、今年は「Play the Living」をコンセプトに賛同したデザイナーと共にプロダクトを制作。遊び心のあるインテリアプロダクトを発表します。また、企業と共に取り組んだ様々なプロジェクトも併せて紹介します。(プロダクトディレクション: more trees design)

会期中、リビング・モチーフ (B1F) では新作の一部を先行販売します。

* 価格はすべて税抜き



スティックモビール(倉本 仁) ¥5,500
10月発売



カッティングボード(倉本 仁) ¥3,800
10月発売



キッチンの積み木(鈴野浩一)
来春発売予定



サンライト(清水慶太)
来春発売予定



エメラルドのプレスレット(熊谷有紀) ¥3,800
10月発売



木片の時計(小林幹也)
来春発売予定



りんごのけん玉(鈴木康広) ¥6,500(予価)
10月予約開始



木のコマ(鈴木康広) ¥2,400
10月発売



年輪の置時計(角田陽太)
来春発売予定



ピノッキオスタンド(角田陽太) ¥5,500
9月末より販売中

主な展示

■中庭：

鈴木康広（アーティスト）によるインスタレーション「空気の森」。天空に向かって直立する透明の巨木。天候や時間、また視点を変えることによって様々な表情を見せてくれます。特にアクシスビルの象徴であるクラマタ階段（倉俣史朗氏デザイン）踊り場からの展望はオススメです。

[作家からのメッセージ]

「空気の森」

太古から人は、森からの恵みを受け、木とともに暮らしてきました。巨木を前に感じる畏敬の念は、私たちのDNAに組み込まれているのかもしれない。

吹き抜けの透明な「木」は、つねに会場の空気を吸い込み、幹が張りを保つことで自立しています。吸った空気は枝の先端から吹き出し、敷きつめた檜のチップが放つ香りを上の階に届けます。

檜の香りと、高く伸びる木のかたちが、訪れた人の記憶の森とつながることを期待しています。



■B1Fアクシスギャラリー [シンポジア]：「TOUCH WOOD art project」

森や自然をテーマにした写真展「TOUCH WOOD art project」を開催。これは、2009年にチャリティアートプロジェクトとしてスタートし、すでに渋谷、博多、名古屋、原宿において展開されてきたmore treesのプロジェクトです。

参加アーティストは20名。作品はすべて国産ヒノキ材を使用したフレームにおさめ、作家の手によるオリジナルプリントでサインをつけ、5万円と10万円という2つの価格で販売いたします。

個別にエディション数を設定し、アートとしての市場価値創出にも留意しております。

多くの方々がアート写真に触れ、購入の良い機会となれば幸いです。



Bryce Canyon # 03 (瀧本幹也)



more trees (ホンマタカシ)



間伐材を使ったmore treesオリジナルフレーム

主な展示

■B1Fロビー：

鈴木康広（アーティスト）によるインスタレーション「more trees！（もっと木を！）」。森の仕事に関わる人々や来場者が参加してつくりあげる作品です。会期中も来場者の参加により、作品は大きく増殖し、森を形成していきます。なお、本作品を鈴木康広と一緒に制作するによるワークショップを開催します。

・10月30日（土）14時～16時（要予約）

〔作家からのメッセージ〕

枝や端材など小さな木片からできた、たくさんの「木」が集まりました。森の仕事に関わる人やボランティアの人たちが無心になって手を動かし、その数すでに500個を超えました。一つひとつの「木」をじっくり見たり、全体を眺めたり、さまざまな視点からお楽しみください。そして皆さんもぜひここで自分の「木」をつくってください。



■リビング・モチーフ（B1F）：

会期中、リビング・モチーフ（B1F）では新作の一部を先行販売いたします。なお、売上の5%はmore treesへ寄付され、森づくりに役立てられます。

■3Fテラス：



深澤直人デザインによる間伐材を使ったベンチ

杉の植林の下層植生として生えるという茶の木。自然豊かな森のお茶を、more treesオリジナルベンチに座りながらお楽しみください。
（協力：国友農園）



* more trees（モア・トゥリーズ）とは：

一般社団法人more treesは「もっと木を」という呼びかけの下、音楽家の坂本龍一を筆頭に、細野晴臣、高橋幸宏、中沢新一、桑原茂一が発起人となり、100人以上の賛同人を得て、2007年7月に設立された森林保全団体です。

日本の森林においては間伐を、熱帯地域や砂漠においては植林を進め、数々の森林再生プロジェクトに取り組んでいます。同時に、企業や一般人に向けてCO2を相殺する「カーボンオフセットサービス」を展開。2009年からは森のめぐみである間伐材を使って、オリジナルプロダクトの開発にも取り組み始めました。日本の木の柔らかな風合いや温もりを伝えると同時に、間伐を推進し、間伐材の需要を広めていきます。